

Kagaku To Kogyo (Osaka)

科学と工業

第98巻 第7号 2024年7月

目 次

講 演

デジタル・ロボット技術が拓く未来医療

神戸大学 藤澤 正人 … 167

解 説

開放反応場における狭帯域蛍光カーボン量子ドットの液相合成法の開拓

慶應義塾大学 磯 由樹 … 175

慶應義塾大学 磯部 徹彦

キーワード：カーボン量子ドット，液相合成，蛍光，フロログルシノール，
4,6-ジアミノレソルシノール

解 説

紫外LED測光システムの紹介

(地独)大阪産業技術研究所 北口 勝久 … 182

キーワード：UV-LED，紫外放射，積分球，配光測定装置，分光検出器

大阪工研協会会報 … 187

Contents

【Lecture】

Advancing Future Healthcare through Digital Robotics Technology

Masato FUJISAWA ...167

【Review】

Exploration of Liquid-Phase Synthesis of Carbon Quantum Dots with Narrow-Band Fluorescence in an Open Reaction Field

Yoshiki ISO, Tetsuhiko ISOBE... 175

UV-LED Spectral Radiation Measurement Systems

Katsuhisa KITAGUCHI... 182

今月号のここがポイント！

本号では、2月に行われた新春講演会から神戸大学学長藤澤先生のご講演と、2件の解説記事を掲載いたしました。

解説記事1件目は、昨年のノーベル化学賞で話題となった量子ドットに関連して、カーボン量子ドットについてです。カーボン量子ドットは有害元素を含む無機半導体量子ドットの代替として期待されており、本記事では、開放反応場での合成法と、ディスプレイへの応用において重要な狭帯域蛍光について解説していただきました。解説記事2件目は、紫外LED測光システムについてです。紫外LEDは製造、食品、衛生産業において開発・利用が拡大しており、その評価に必要な測光システムの詳細や、測定例について紹介しています。